

古文 品詞分解（動詞・助動詞） 「宇治拾遺物語」 伴大納言の事」 問題

これも今は昔、伴大納言善男は佐渡の国の郡司が従者^アなり。かの国にて善男、夢に^①見るやう、西大寺と東大寺とを^②跨^レげて^③立ち^イたりと^④見^レて、妻の女にこの由を^⑤語^ルる。妻の曰く、「そのこの股こそ、^⑥裂^カか^ウれ^エん^ズお^ラめ」と^⑦合^ハはするに、善男^⑧驚^キきて、「よしなき事を^⑨語^リカ^テキ^ケるかな」と^⑩恐^レれ^⑪思^ヒひて、主の郡司が家へ^⑫行^キ向ふところに、郡司、極めたる相人^クなり^ケけるが、日ごろはさも^⑬せ^コぬに、殊の外に^⑭饗^レ応して円座^⑮取^リ出で、^⑯向^カひて^⑰召^シす^⑱のぼ^セせ^サければ、善男あやしみを^⑲なして、「我を^⑳すかし^㉑のぼせて、妻の^㉒い^ヒし^ツるスやうに股など^㉓裂^カか^セん^ズるやらッん」と^㉔恐^レれ^㉕思^フ程に、郡司が曰く、「汝、やんごとなき高相の夢^㉖見^タて^チけり。それに、よしなき人に^㉗語^リッて^テけり。必ず大位には^㉘至^ルとも、こと^㉙出^デ来て罪を^㉚か^ブら^トんぞ」と^㉛言^フ。

^㉜し^カる間、善男、縁に^㉝つ^キて京^㉞上^リして、大納言に^㉟至^ル。されども、猶罪を^㊱か^ウぶる。郡司が言葉に^㊲違^ハナ^ズ。

古文 品詞分解（動詞・助動詞） 「宇治拾遺物語」 伴大納言の事」 解答

これも今は昔、伴大納言善男は佐渡の国の郡司が従者^アなり。かの国にて善男、夢に^①見るや

断定

う、西大寺と東大寺とを^②跨^カげて^③立ち^チたりと^④見て、妻の女にこの由を^⑤語る。妻の曰く、

ガ下二用 タ四用 存続 マ上一用

「そのこの股こそ、^⑥裂^カかれ^⑦んず^⑧おらめ」と合はするに、善男^⑧驚^カきて、「よしなき事を^⑨語り

カテキけるかな」と^⑩恐れ^⑪思^サひて、主の郡司が家へ^⑫行き向ふところに、郡司、極めたる相人

断定 過去 推量 現在推量 サ下二用 ハ四用

サ変 打消

クなり^⑬けるが、日ごろはさも^⑭せ^⑮ぬに、殊の外に^⑯饗^サ応して円座^⑰取り出で、^⑱向^カかひて^⑲召^サし

サ下二用 過去

^⑳のぼせ^㉑ければ、善男あやしみを^㉒なして、「我を^㉓すかし^㉔のぼせて、妻の^㉕いひ^㉖つる

カ四用 推量

スやうに股など^㉗裂^カか^㉘んずるやら^㉙ン」と^㉚恐れ^㉛思^サふ程に、郡司が曰く、「汝、やんごとなき

マ上一用 強意 過去

高相の夢^㉜見^ミたて^㉝けり。それに、よしなき人に^㉞語^カり^㉟て^㊱けり。必ず大位には^㊲至^キるとも、

カ変 推量

こと^㊳出^デで来て罪を^㊴かぶら^㊵んぞ」と^㊶言^イふ。

ラ変 推量

^㊷しかる間、善男、縁に^㊸つきて京^㊹上^㊺りして、大納言に^㊻至^キる。されども、猶罪を^㊼かうぶる。

ハ四用 打消

郡司が言葉に^㊽違^ヒは^㊾ナ^㊿ず。